

● 全国各種学校協会理事会

2月12日、東京・アルカディア市ヶ谷を会場として全国各種学校協会理事会が開催された。

細野美貴会長が開会あいさつを述べ、議事に入った。

1.平成31年度事業計画原案・収支予算原案(①運動方針：今後、全国専修学校一般課程各種学校協会として、「生涯学習の推進」ならびに「行政を含む地域における連携の推進」更に「学習成果の社会的評価の向上」などいくつかの柱立てが必要であり、検討される必要がある。そのためには「活動方針」に「共通課題や情報などの認識の共有化を図る」必要がある。また、学校評価等への取り組みの推進、教育費私費負担の軽減に資する公的財政支援制度(教育バウチャー制度)の研究、日本政策金融公庫が行う「国の教育ローン」の普及・啓発、金融機関の窓口での本人確認書類の提示等の取り扱いについて、「今後の運営について」(適切な役員構成や会の愛称等の検討を含めた組織体制の構築を引き続き協議する。4月1日をもって大阪YMCA学院の佐藤裕幸理事が退任すること。次回理事会(5月14日)には、窪津憲明専修学校夕陽丘予備校をオブザーバーとして出席を求めること。②総会(役員改選を含む)・理事会の開催、③研修会の開催と講演録の刊行、④生涯学習カレッジ認定委員会、⑤調査研究活動の実施、⑥広報活動の推進)。2.平成30年度生涯学習カレッジ認定講座登録募集の案内(理事会前に開催された生涯学習カレッジ認定委員会で議論された改定案が提案され承認され、4月以降事業となるため、新会員校にも送付すること。)。3.今後の予定日程、について審議し、異議なく事業計画原案・収支予算原案ともに承認された。